

七月一日(毎上)

良政の路道

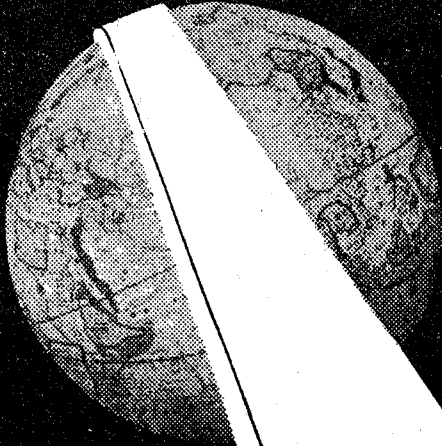
載 轉 禁

號七第

卷七十第



鋪裝なら何んでも……

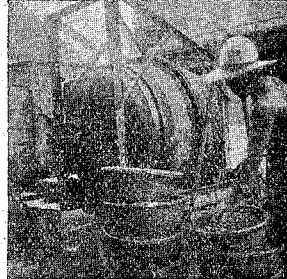


日本鋪道株式會社

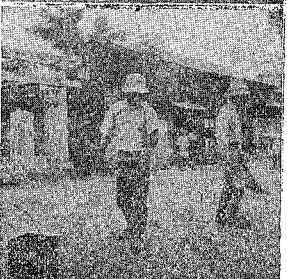
東京・丸之内
横浜・名古屋・大阪・京都・福岡・台北・新京

混合用エマルビア施工順序

- 1 混合用エマルビア
- 2 混合用骨材(砂利)
- 3 混合
- 4 下層混合材練上
- 5 下層混合材敷均



- 6 碎石撒布
- 7 輾壓(第一回)
- 8 封絨層
透入用エマルビア撒布
- 9 同上
碎石撒布
- 10 仕上輾壓



專賣特許

瀝青乳劑エマルビア

製造販賣及鋪装工事請負

東京瀝材工業所

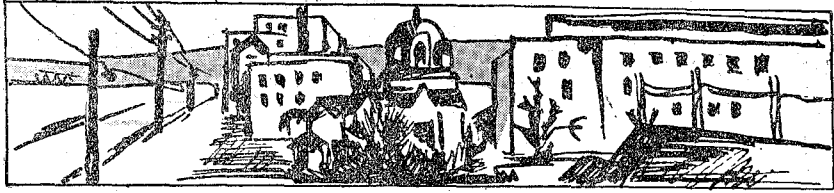
東京市京橋區銀座西三丁目一番地
電話京橋一、三二五番

横濱市鶴見區菅澤町一、一三九番
電話鶴見一、一三九番

仙臺市東區七番
電話仙臺三、二九〇番

大倉土木株式會社

東京市京橋區銀座西二丁目二、九
電話京橋自二、三〇至二、一四九番



道路の改良 第十七卷 第七號 目次 昭和十年七月一日發行

口繪 皆野橋 (埼玉縣)

卷頭言 (二)

論說

道路改良計畫の基礎としての交通量調査に就て 慶應大學教授 增井幸雄 (三)

研究

マンロー公益事業論 (公益篇) 内務事務官 武若時一郎 (二)

路面電車の信號と保安 (四) 金子禎秀 (三)

技術

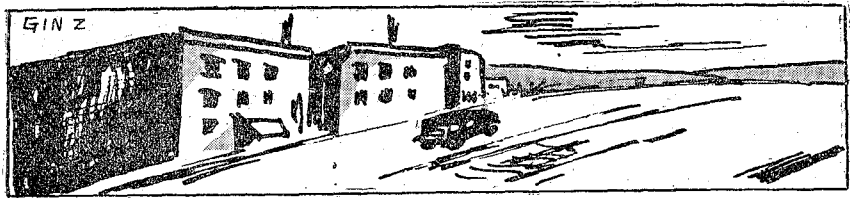
佛蘭西、電弧銲接鋼建築物並に鋼橋施工に關する假規則 内務技師 青木楠男 (四)

本邦鋪裝用タールの性質と用途 (三) 内務技師 西川榮三 (六)

自轉車道の創設及其設計に就て 内務技師 藤井眞透 (七)

海外道路時事

新形式の混泥土鋪裝 瑞典國の道路 獨逸自動車國道の進捗 内務省土木試驗所長 物部長 穗 (六)



漫 録

經濟部長會議を覗く…………… 滋里木耕成(二三)

土木主任官會議のぞ記…………… 十 八 公(二二)

國道八號線(四)…………… 内務博士 金森誠之(二五)

批評と紹介

神戸裏山ドライブウェイの一部開通…………… 王 之 波(二五)

昭和七年度國直轄國道改良工事に就て…………… 遠藤貞一(二五)

道府縣道路認定並變更…………… G A 生(二六)

地方通信

東北・關東・北陸・東山・東海・近畿・中國・四國・九州・朝鮮…………… (二六)

假 面 劇

百餘年前の道標今も輝く…………… 其他…………… (二七)

雜 報

◎土木地方債許可概要◎土木事務打合會◎埼玉縣皆野橋工事概要

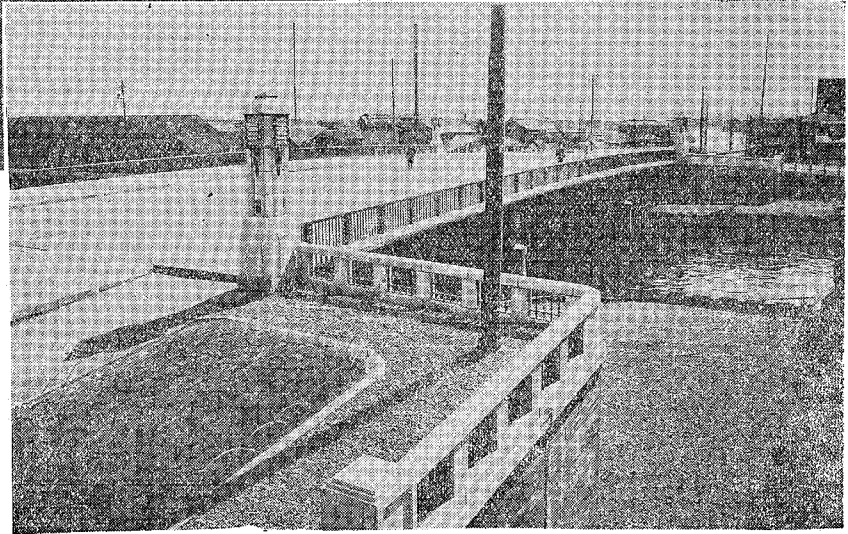
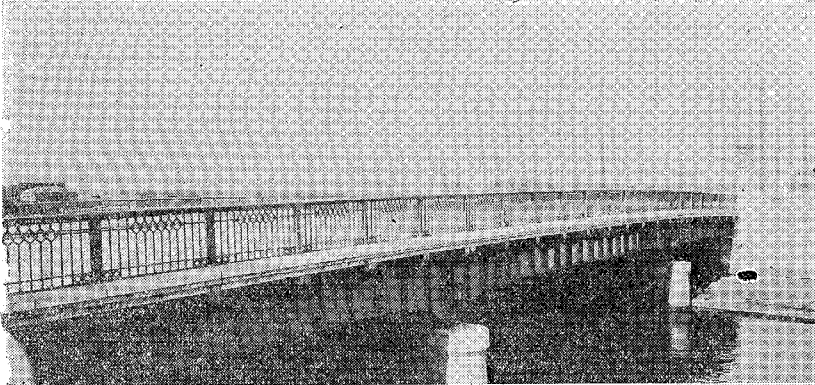
◎全國交通網調査會の實行委員決定…………… (二九)

叙 任 辭 令…………… (二三)

編輯室の外…………… (二四)

日立 アスファルトブロック

日立アスファルトブロックヲ以テ鋪裝セル
彈正橋



進
開
橋

日本鑛業株式會社

東京丸の内

電話丸の内(23)1241-7

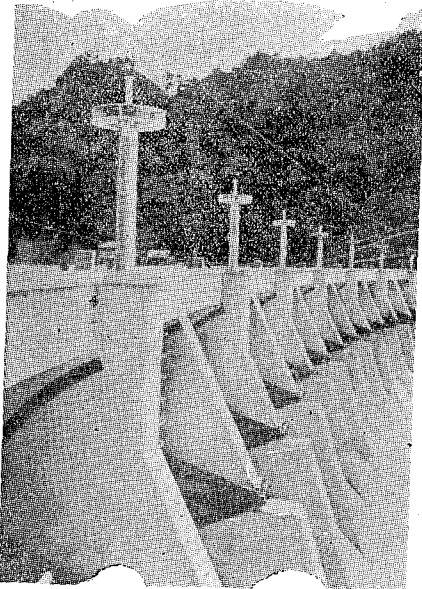
大阪中島

電話本局260-4

野 皆 橋 (縣 玉 埜)



新製品 低熱セメント發賣!!!



淺野マスコン・セメント (ASANO MASCON CEMENT)

・ 特 色 ・

- (一)比重重ク、凝結遅キコト。
- (二)コンクリートノ容重重ク、密度大ナルコト。
- (三)粉末ノ表面積大ニシテ、コンクリートハプラスチック且ツウオーカブルナルコト。
- (四)發熱少ク、コンクリートノ溫度上昇少キコト。
- (五)強度發熱比高ク、且ツ強度増進率大ナルコト。
- (六)空中收縮少ク、且ツ耐侵蝕性ナルコト。

・ 用 途 ・

一般ニ厚キ塊コンクリート工事。(Mass-Concrete)ニテ、容積變化又ハ不均齊應力ノ發生ヲ厭フモノ。(例、重力堰堤、砲壘、橋脚及ヒ機械基礎其他早期高强度ヲ要求セサルモノ、終局ノ硬化ノ低熱タルヲ要求スル工事)

淺野マスコン・セメントト米國 Boulder dam 用
低熱セメントトノ試験比較 (18°C)

種 類	比 重	粉末程度	凝 結		水 和 熱 (H)Cal/g		空中收縮率 mm/10mm	
		cm ³ /g	凝始	凝終	7 日	28 日	7 日	28 日
淺野マスコン・セメント	3.23	1430	5:22	7:14	53.9	75.0	6.1	7.8
米國低熱セメント	3.22	1330	3:17	5:25	52.3	72.3	6.9	10.0

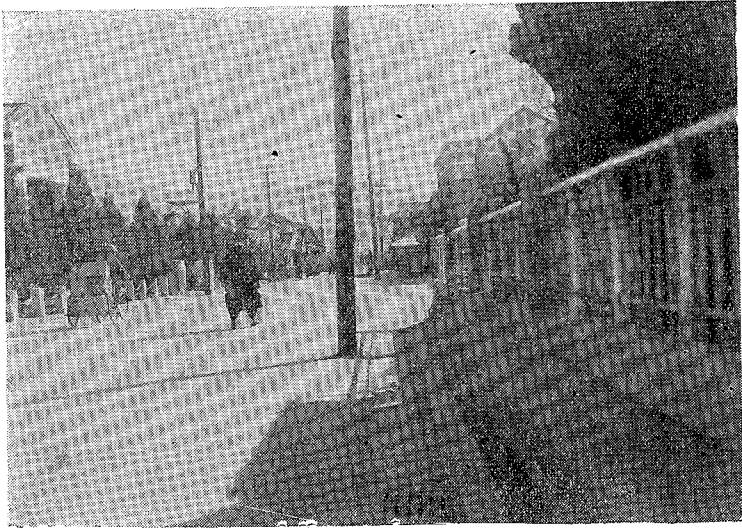
	水量(%)	モルタル強度 (kg/cm ²)						強度發熱比	
		1 日	2 日	3 日	7 日	28 日	7 日	28 日	
		耐 壓 力 (C)						C/H	
淺野マスコン・セメント	7.0	81	196	303	434	659	8.1	8.8	
米國低熱セメント	6.5	94	164	226	345	487	6.6	6.7	

		抗 張 力 (T)						T/H	
淺野マスコン・セメント	6.8	11.5	21.8	31.1	35.1	41.3	6.5	5.5	
米國低熱セメント	6.3	13.0	18.6	22.5	27.4	36.4	5.2	5.0	

淺野セメント株式會社

東京市麴町區丸ノ内ノ六 (海上ビル新館三階)

— 說明書贈呈 —



朝鮮全羅北道全州邑エラム舗装

エムラス道路工業株式會社

瀝青乳劑製造販賣

乳劑エムラス舗装

其他各種道路舗装

一般土木建築工事

東京市向島區吾嬬町西四ノ二四
電話(墨田)二六三七番

出張所
旭川市、弘前市、佐賀市、岐阜市

道路舗装工事其他一般土木建築工事請負

瀝青乳劑アスメント

(滲透用・混合用)製造販賣

碎石割栗石其他土木用石材採掘販賣

昭和工業株式會社

專務取締役

藤岡惟一

本社 東京市麴町区内幸町一ノ三

大阪七儿

電話 銀座

(57) 自五二八八
至五二八九

瀝青工場 東京市芝区月見町二、四
石材採掘場 静岡縣岡谷郡北嶺台
營業所 大阪府大連

日本道路鋪裝株式會社

營業種目

瀝青乳劑鋪裝

瀝青加熱鋪裝

其他一般鋪裝

下水及道路

其他土木工事

各種アスファルト販賣

東京市麴町區丸ノ内二丁目二番地 丸ビル六階六〇二區
電話・丸ノ内(23)・長四八二九番・四九八二番

道 路 鋪 裝

(型錄贈呈)

本社 東京市赤坂區青山北町四ノ一〇三

電話青山(36) 八一四八番四九七三番

東 邦 工 業 合 資 會 社

營 業
目 錄

各種鋪裝工事請負

鋪裝材瀝青乳劑製造販賣

一般土木建築工事請負

道路研究資料

第二輯 定價金六十錢

道路の設計工法並に計畫に就て

本篇は内務技師工學博士藤井眞透氏著作にして左の事項に就き記述せらる。

第一章 總説・第二章 滿洲國の道路の現状・第三章 殖民地及未開地方の道路の計畫及工法・第四章 産業經濟の見地より見たる道路の總延長・第五章 道路系統の決定方法・第六章 路線の形狀に就て・第七章 路面の構造及工法に就て・第八章 交通車輛の構造と路面の性質・第九章 道路改良の財源に就て・第十章 道路と鐵道、空路との關係に就て 以上

發行所 道路改良會

賣販造製料材



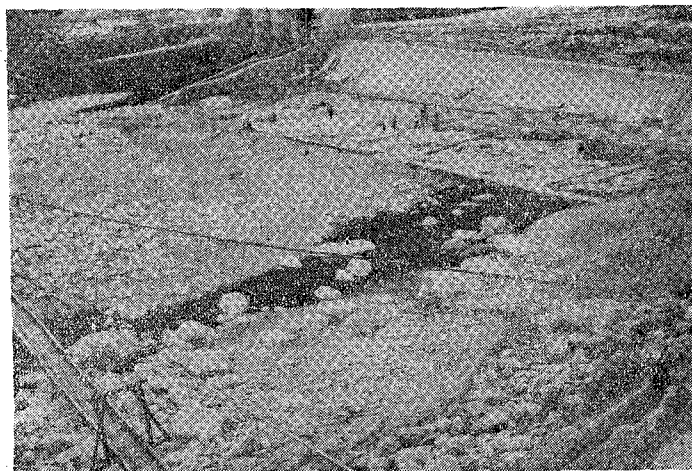
負請事工木土

型
錄
進
呈

負請事工裝鋪種各及事工木土
 賣販及造製トツチデリソオネ
 賣販及造製品工加種各土凝混
 賣販石碎種各ニ並スラバ滓鑛
 賣販ルータ及トルアフスア種各
 賣販造製劑乳青瀝ニクミ許特
 賣販造製トイタスラエニクミ
 賣販造製品工加トルアフスア

營
業
科
目

社會式株トツチデリソ本日



大同電力株式會社木會讀書發電所取入口
 ソリデチツト・モルタル目地施工中の全景

技術顧問
 工學博士
 牧
 彦
 七

社本
 所張出
 所張出
 東市京橋區橋東市京東
 三橋京區橋東市京東
 目丁三橋京區橋東市京東
 番二目丁三橋京區橋東市京東
 地四片倉ルビ内
 番十九目丁二濱北區東市阪大
 六四〇三用專局本話電
 目丁九町通市幡八縣岡福
 五三三一用專幡八話電

道路行政研究資料 第一輯

定價金 八十錢

道路研究資料 第二輯

定價金 六十錢

東京市麴町區外櫻田町

道路改良會

シイトアスフアルト骨材

寒水石粉末

二百番篩 85%通過

茨城縣多賀郡大甕驛前(常盤線)

旭礦末資料會社 大甕工場

電話久慈濱一三一番

同 下孫 下孫工場

電話河原子四九番

同 東京市淺草區山ノ宿町二十番地

同 本店

電話淺草(84)四六二五番

製造品目

寒水石粉各種、寒水石粒各種、孔雀砂、銀星砂、黑砂、其他化粧砂各種

◎水戸市に於て嘗て天覽を賜りたる弊社の石粉末は大東京のシイトアスフアルト舗裝の九〇%を供給したり

◎微粉末の製造はエヤーセパレーションに依て理想化する

小倉石油株式會社專屬販賣店

ブローンアスファルト
ストレートアスファルト
ウォーターアスファルト

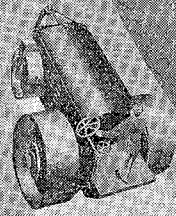


本店 東京市麴町區丸ノ内 仲六號館

電話 1654
丸ノ内 5014

出張所 大阪市西區土佐堀大同生命ビル

電話 3118
土佐堀 4343



事互装舗路道トルアフスア

事互装舗トルアフターオウ割乳青瀝

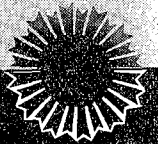
賣販理代トルアフターオウ・トルアフスア倉小

賣販造製グソイフルヒサア

社 會 式 株 本 工 市 都

地 番 二 百 丁 一 橋 京 區 橋 京 市 京 東

番 八 六 二 二 (5 6) 橋 京 話 電

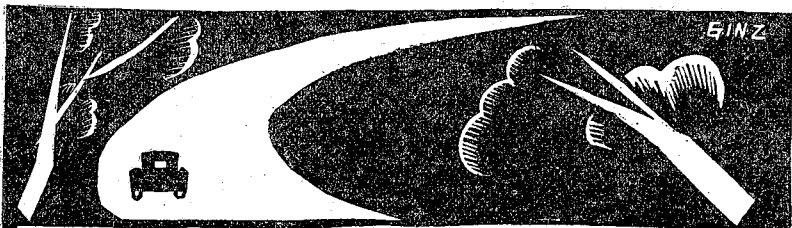


昭和十年

道路の改良

七月一日

第七十卷
第七號



言 頭 卷

天を敬し人を愛すとの一句は西郷南洲翁が能く揮毫したるものである、天は畏敬する所に親しみ、人は親愛する所に和するは疑を容るゝの餘地なき事理である、彼の書經にも伊尹が王に諍げたる句に「嗚呼惟れ天親しむこと無し克く敬するに惟れ親しむ、民常に懐くこと罔し仁あるに懐く、鬼神常に享くこと無し克く誠なるに享く天位艱い哉」とあるはまた此事理を述べたるものである、周語に敬者禮之本也とあり、左傳にも敬民之主也とあるは蓋し同一義に出でたものである。

今や世を擧げて敬を失ふの状あるを視る、敬なき所下上を剋し綱紀は紊れ、風俗は墮し不安と疑惑は天下を掩ひて悲惨なる根強い虚偽が行はれ、凡ゆる欺瞞と不正直と伴りとが充満し、社會は虚榮に呪はれ、實業は懸引と不正直とに始終し、政界は權謀術數にて左右せられ、到る處虚偽と暴力とに脅かさされ、徒らに大言壯語が吐かれ、あらぬ智識を街ふ者が多く、力なきに虚位虚職を占むる者が出て、心の顔をひそめながら微笑を浮べる者、刑に觸れざる程度で曲事を働く者少なからざる情勢を呈し社會組織に對する不平不満も生じ家庭に於ける秩序は破られて不倫が行はれ、團體の役員間には軋轢が絶へず、友人間には猜疑嫉妬が信用を驅逐し、兄弟間には嫉視奸詐が友情を破壊し去つて所謂荒唐敬せざれば自ら天に絶ち怨を民に結ぶと云ふの感を生ずるのである、人の臣となる敬に止まるとの敬は寔に心に銘すべきの一言である、綱紀肅正の聲を大にし選舉肅正の叫びを高くあぐるも敬なきの社會に於ては其の効果を奏すること容易ならざるべく、檢察官に人權蹂躪の非違あるにあらざるかを疑ひ、被疑人に免かれて耻なきの業に出づるかの者あるを思はしむるが如き世態は蓋し敬なきの致す所である。

社稷をして治平に、社會をして安泰に、生民をして安定に導くの要諦は敬あらしむるに在る、中庸に「齊莊中正にして以て敬あるに足る」と宜なるかな言哉。(洸民)